

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34.90775	施設ID	
				経度	135.77486	34.90775,135.77486	
南落合橋 (フリカナ) (ミナオチアイバシ)	春日森落合線	京都府宇治市槇島町落合83番地先					
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
京都府 宇治市		河川	有	一般道			

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅲ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1981	9.0	9.5	上部構造	下部構造	基礎構造
			411-④PC橋_プレテン床版	13-逆T式橋台	0-直接基礎

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

技術的な評価結果		定期点検実施年月日		2025.11.09		定期点検者		(株)浪速技研コンサルタント		登尾 吉宗	
	想定する状況										
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他				
橋(全体として)	A		C		A		()				
上部構造	A	写真番号	C	写真番号 1	A	写真番号	()	写真番号			
下部構造	A	写真番号	B	写真番号 2,3	A	写真番号	()	写真番号			
上下部接続部	A	写真番号	A	写真番号	A	写真番号	()	写真番号			
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	写真番号			
その他(伸縮装置)	A	写真番号	A	写真番号	A	写真番号	()	写真番号			

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		34.90775,135.77486		定期点検実施年月日		2025.11.09		定期点検者		(株)浪速技研コンサルタント		登尾 吉宗							
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造							
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		C		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B					
								写真番号		1		径間		1		部材番号		1	
								備考		主桁にPC鋼材の露出が見られる。									
構成要素				下部構造				構成要素											
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況				構成要素の状態							
								写真番号		3		径間		1		部材番号		1	
								備考		石積み目地部に隙間が見られる。									
写真番号				4		径間				部材番号									
備考				(適宜、特記事項など)															

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	34.90775,135.77486		定期点検実施年月日		2025.11.09	定期点検者	(株)浪速技研コンサルタント	登尾 吉宗
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)		
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他				
上部構造	無	無	無	—	—	無	近接目視(地上・梯子)により損傷を確認	第三者被害の影響範囲が無いため、未実施		
下部構造	無	無	無	—	無	無	近接目視(地上・梯子)により損傷を確認	第三者被害の影響範囲が無いため、未実施		
上下部接続部	無	—	—	—	—	無	近接目視(地上・梯子)により損傷を確認	第三者被害の影響範囲が無いため、未実施		
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—		該当部材なし		
その他(伸縮装置)	無	—	—	—	—	無	近接目視(地上)により損傷を確認	第三者被害の影響範囲が無いため、未実施		

所見	<p>【上部構造】活荷重:A 地震:C 豪雨・出水:A PC桁にPC鋼材露出が見られる。PC鋼材自体に錆が見られることから、安全性の観点から早期に措置を講ずることが望ましい。</p> <p>【下部構造】活荷重:A 地震:B 豪雨・出水:A 下部構造に遊離石灰を伴う漏水跡が見られる。現時点で構造安全性に問題は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。</p> <p>【上下部接続部】活荷重:A 地震:A 豪雨・出水:A 上下部接続部に損傷は見られないため、特段の監視や対策を行う必要はない状態と判断する。</p> <p>【その他(伸縮装置)】活荷重:A 地震:A その他(伸縮装置)に損傷は見られないため、特段の監視や対策を行う必要はない状態と判断する。</p> <p>【総括】 以上により、上部構造のPC桁にPC鋼材露出が見られる。今後、伝い水によりPC鋼材の腐食進行を防ぐため、安全性の観点から早期に措置を行うことが望ましく、本橋の健全性の診断は「Ⅲ」と評価した。</p>
----	--

定期点検記録様式（その１）										橋梁の諸元と総合検査結果															
カガナ 橋梁名		ミナミオチアイバシ 南落合橋		路線名		春日森落合線		起点側 緯度 34° 54' 27.9" 経度 135° 46' 29.5"		終点側 緯度 34° 54' 27.5" 経度 135° 46' 29.7"		橋梁ID		34. 907750, 135. 774861											
所在地		自 横島町落合83番地先		距離標		管轄		京都府		橋梁コード		26204105030													
供用開始日		1981年7月		橋長		9.00m		活荷重・等級				適用示方書													
上部構造形式		P C 橋 P C 床版橋その他		幅員		全幅員		9.48m		地覆幅		歩道幅		車道幅・車線		歩道幅		地覆幅		中央帯		中央分離帯		交通条件	
				有効幅員				8.50m		1.48m		3.50m		3.50m		3.50m				0.60m					
下部構造形式		逆T式橋台		備考																				大型混入率	
基礎形式																									
																								t	

総合検査結果		健全度 (橋単位)		Ⅲ		橋梁診断員		瀬浪速技研コンサルタント 登尾 吉宗	
--------	--	--------------	--	---	--	-------	--	-----------------------	--

【橋梁の特徴】

- ・供用歴は1981年供用開始のP C 橋である。

【損傷の総合評価】

- ・主桁下面にPC鋼材露出があり、前回の点検より、進行が見られる。安全性の観点から早期に措置を講じる必要がある。
- ・床版下面に漏水・遊離石灰があり、前回の点検より、大きな進行は認められない。損傷の進行状況を見て措置を講じる必要がある。
- ・堅壁に変形・欠損、うきがあり、前回の点検より、大きな進行は認められない。損傷の進行状況を見て措置を講じる必要がある。
- ・新たに堅壁に右積み部間詰め材の脱落が見られる。損傷の進行状況を見て措置を講じる必要がある。
- ・防護柵（親柱）に剥離・鉄筋露出、変形・欠損があり、前回の点検より、大きな進行は認められない。損傷の進行状況を見て措置を講じる必要がある。
- ・舗装に路面の凹凸（段差=20mm）があり、前回の点検より、大きな進行は認められない。経過観察を行うことが望ましい。
- ・排水管に腐食があり、前回の点検より、大きな進行は認められない。損傷の進行状況を見て措置を講じる必要がある。

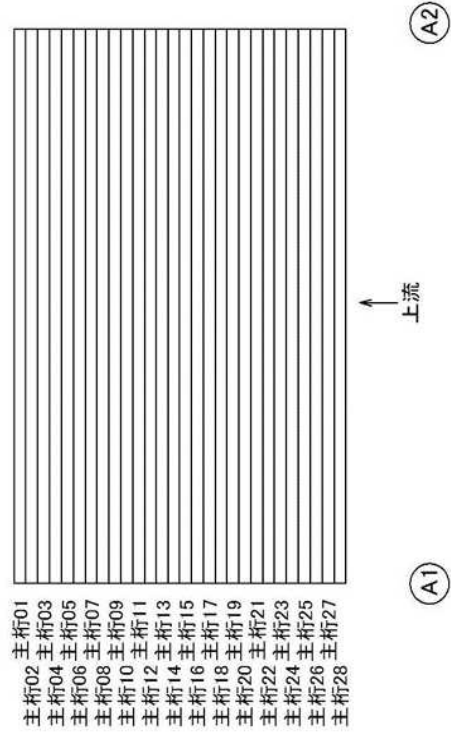
【健全度】

- ・主桁下面に剥離・鉄筋露出、床版に漏水・遊離石灰、堅壁に変形・欠損、うき、排水管に腐食が見られる。安全性の観点から早期に措置を講じる必要がある。健全度はⅢとする。

図号
部材番
点検資料

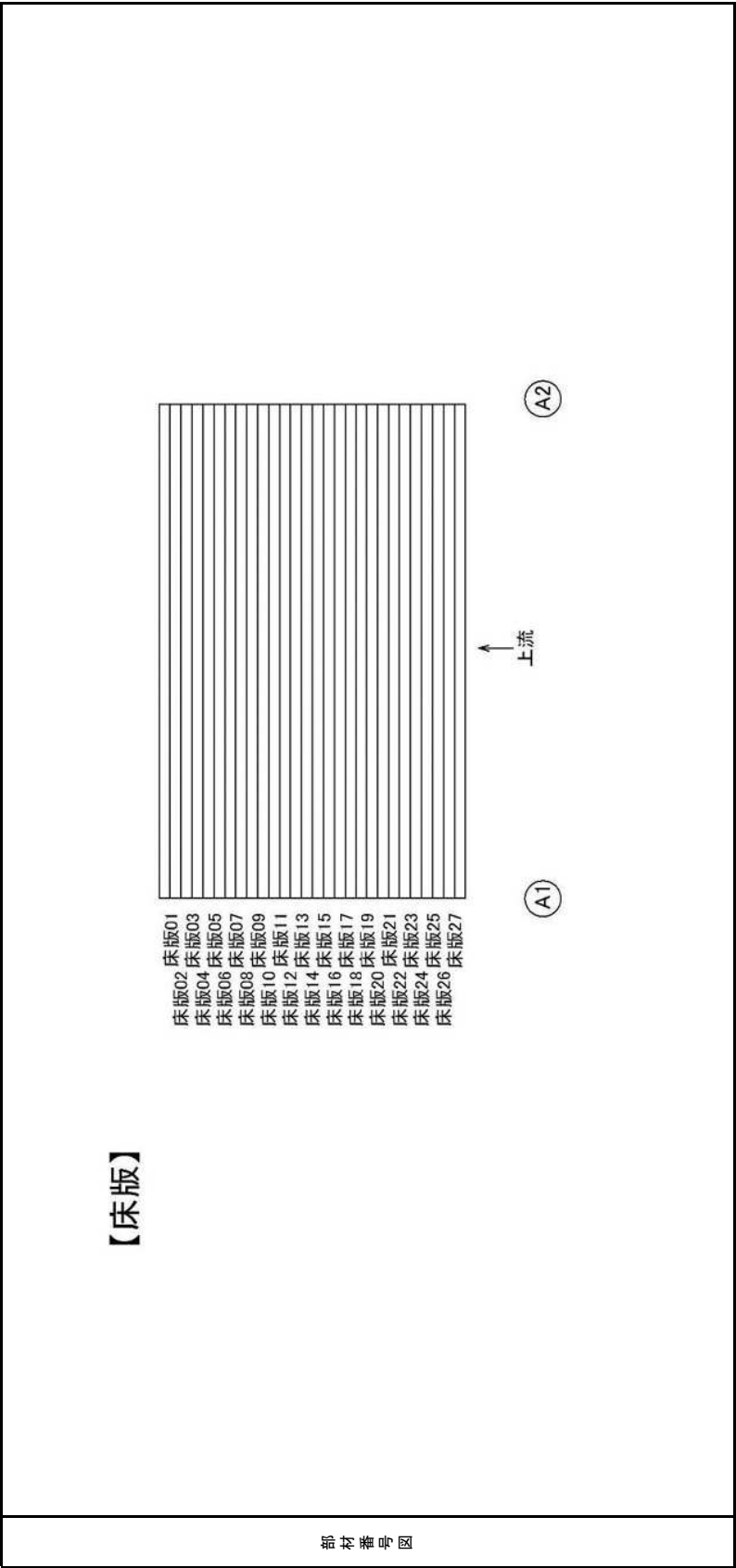
フリガナ 橋梁名	ミナミオチアイバシ 南落合橋
-------------	-------------------

【主析】

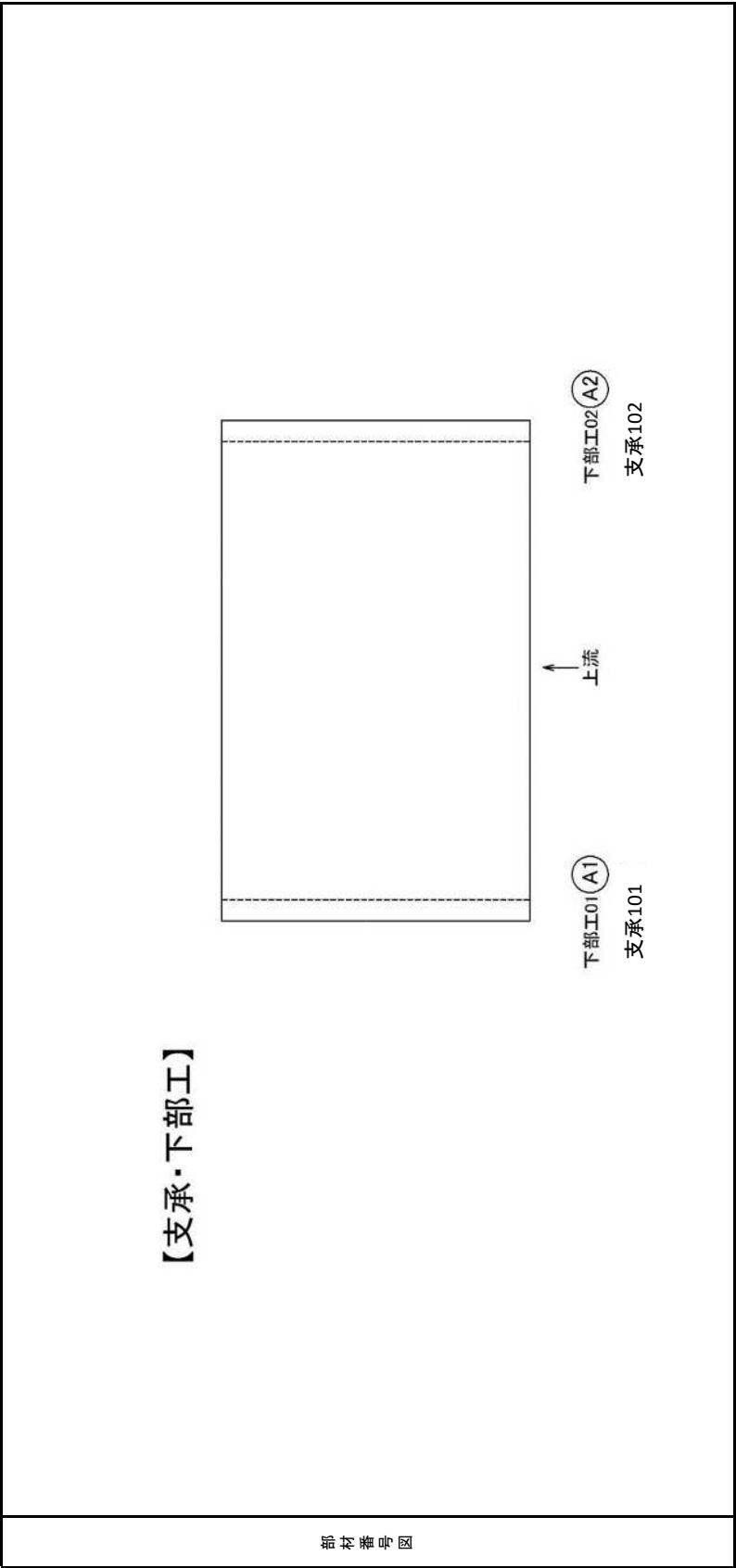


部材番号図

点検資料 部材番号図	
フリガナ	ミナミオチアイバシ
橋梁名	南落合橋



点検資料 部材番号図	
フリガナ 橋梁名	ミナミオチアイバシ 南落合橋



点検資料 現地状況写真

フリガナ	ミナミオチャアイバシ
橋梁名	南落合橋

現 地 状 況 写 真	写真番号	1	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	2	撮影年月日	2025.11.09
	径間番号	1	メモ		径間番号	1	メモ	
	写真説明	正面	起点側より撮影		写真説明	正面	終点側より撮影	
								
	写真番号	3	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	4	撮影年月日	2025.11.09
	径間番号	1	メモ		径間番号	1	メモ	
	写真説明	側面	上流側より撮影（右側起点）		写真説明	側面	下流側より撮影（左側起点）	
								

点検資料 現地状況写真

フリガナ	ミナミオチャアイバシ
橋梁名	南落合橋

現地状況写真	写真番号	5	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	6	撮影年月日	2025.11.09
	径間番号	1	メモ		径間番号	1	メモ	
	写真説明	桁下	起点側より撮影		写真説明	A1橋台		
								
	写真番号	7	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	8	撮影年月日	2025.11.09
	径間番号	1	メモ		径間番号	1	メモ	
	写真説明	A2橋台			写真説明	A1支承	101	
								

点検資料 現地状況写真

フリガナ	ミナミオチャアイバシ
橋梁名	南落合橋

現 地 状 況 写 真									
写真番号	9	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	10	撮影年月日	2025.11.09	終点側より撮影(上流側) メモ	
径間番号	1	メモ		径間番号	1				
写真説明	A2支承	102		写真説明	防護柵				
									
写真番号	11	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	12	撮影年月日	2025.11.09	起点側より撮影 メモ	
径間番号	1	メモ		径間番号	1				
写真説明	防護柵	終点側より撮影(下流側)		写真説明	伸縮装置				
									

現地状況写真

点検資料 現地状況写真

フリガナ	ミナミオチャアイバシ
橋梁名	南落合橋

写真番号 径間番号 写真説明		13	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	14	撮影年月日	2025.11.09
		1	メモ		径間番号	1	メモ	
		伸縮装置	終点側より撮影		写真説明	排水施設	起点側より撮影	
								
写真番号 径間番号 写真説明		15	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	16	撮影年月日	2025.11.09
		1	メモ		径間番号	1	メモ	
		添架物			写真説明	橋名板	南落合橋	
								

現 地 状 況 写 真

点検資料 現地状況写真

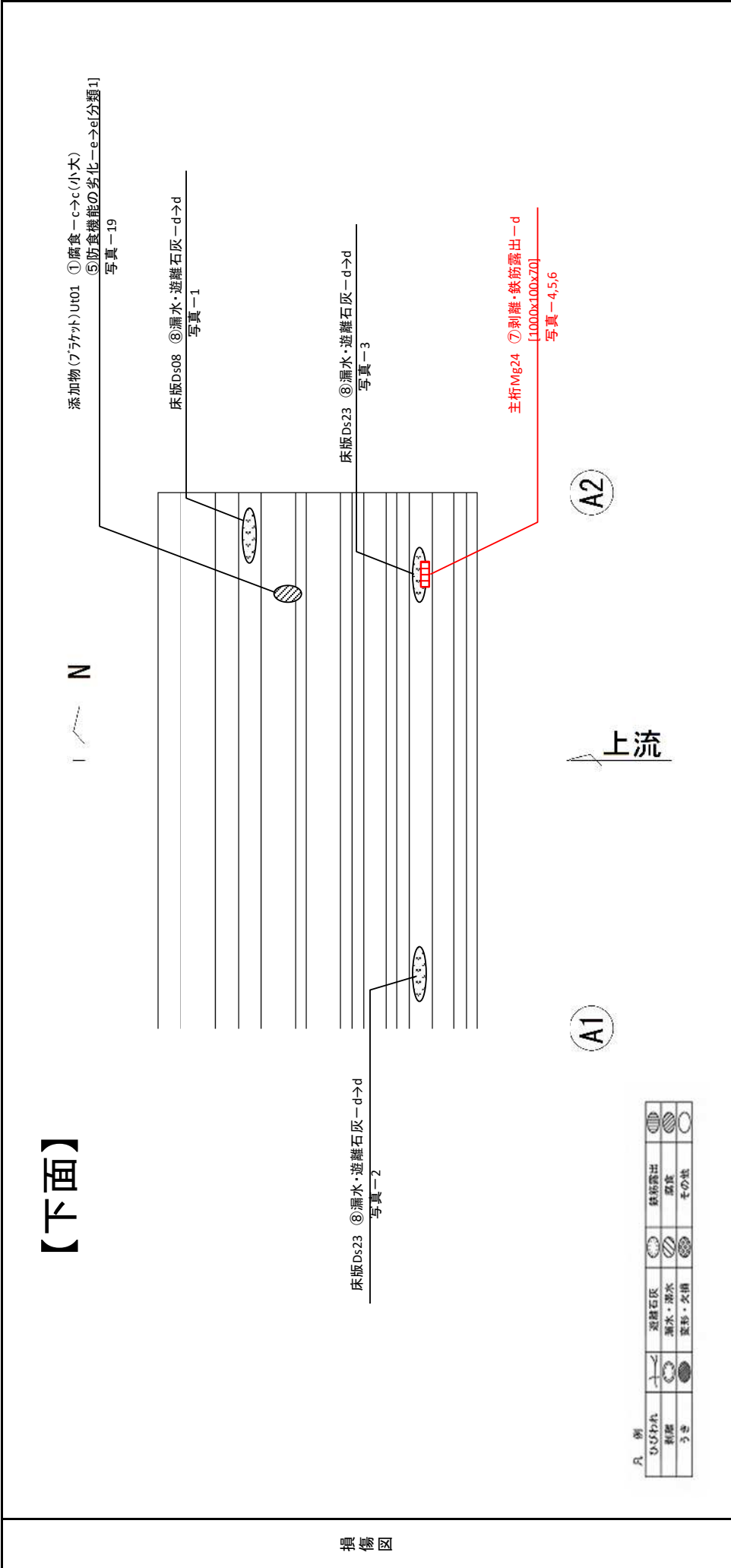
フリガナ	ミナミオチャアイバシ
橋梁名	南落合橋

写真番号 径間番号 写真説明		17	撮影年月日	2025.11.09	写真番号 径間番号 写真説明	18	撮影年月日	2025.11.09
		1	メモ			1	メモ	
		橋名板	みなみおちあいばし			竣工歴板	竣工昭和56年7月	
								
写真番号 径間番号 写真説明		19	撮影年月日	2025.11.09	写真番号 径間番号 写真説明		撮影年月日	
		1	メモ				メモ	
		点検状況						
								

現地状況写真

点検資料 損傷図	
フリガナ 橋梁名	ミナミオチャアイバシ 南落合橋

- 〈注記〉
- ・ 損傷の評価基準は、橋梁定期点検要領 令和6年7月 国土交通省 道路局 国道・技術課
 - ・ 損傷評価区分の△→○は、「△前回調査評価区分、○今回調査評価区分」を示す
 - ・ **引出し線と文字の赤は、新規損傷および損傷の進展を示す（前回記録なし含む）**
 - ・ 引出し線と文字の黒は、前回点検からほとんど損傷が進展していないことを示す
 - ・ **引出し線と文字の青は、補修済みを示す**
 - ・ 単位：mm



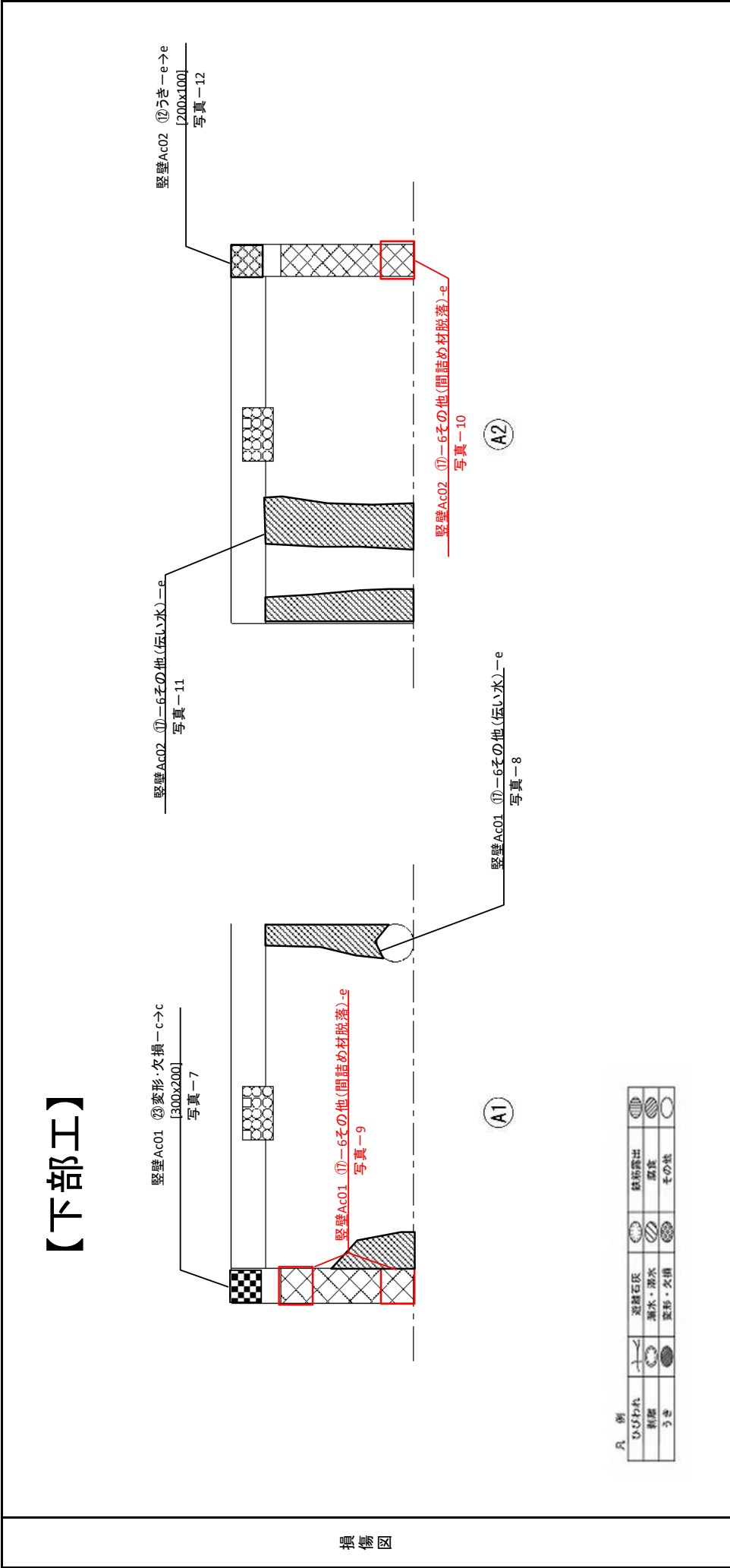
点検資料 損傷図

フリガナ
橋梁名

ミナミオチャアイバシ
南落合橋

- 〈注記〉
- ・ 損傷の評価基準は、橋梁定期点検要領 令和6年7月 国土交通省 道路局 国道・技術課
 - ・ 損傷評価区分の△→○は、「△前回調査評価区分、○今回調査評価区分」を示す
 - ・ **引出し線と文字の赤は、新規損傷および損傷の進展を示す（前回記録なし含む）**
 - ・ 引出し線と文字の黒は、前回点検からほとんど損傷が進展していないことを示す
 - ・ **引出し線と文字の青は、補修済みを示す**
 - ・ 単位：mm

【下部工】



点検資料 損傷図

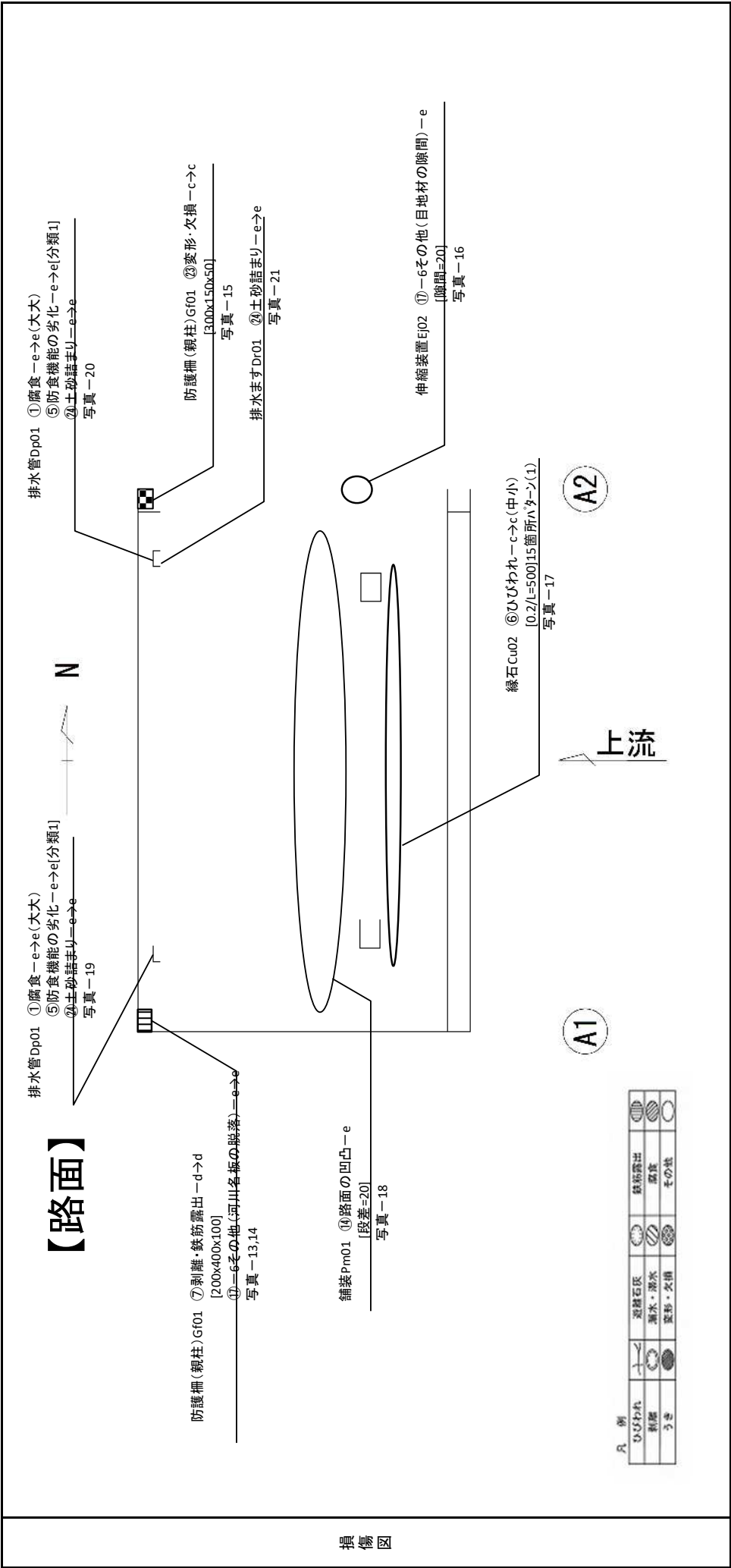
フリガナ

橋梁名

ミナミオチャアイバシ

南落合橋

- 〈注記〉
- ・ 損傷の評価基準は、橋梁定期点検要領 令和6年7月 国土交通省 道路局 国道・技術課
 - ・ 損傷評価区分の△→○は、「△前回調査評価区分、○今回調査評価区分」を示す
 - ・ **引出し線と文字の赤は、新規損傷および損傷の進展を示す（前回記録なし含む）**
 - ・ 引出し線と文字の黒は、前回点検からほとんど損傷が進展していないことを示す
 - ・ **引出し線と文字の青は、補修済みを示す**
 - ・ 単位：mm



点検資料 損傷写真

フリガナ	ミナミオチアイバシ
橋梁名	南落合橋

撮 影 写 真											
写真番号	1	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	2	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09
部材名	床版	部材番号	08	メモ		部材名	床版	部材番号	23	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	【前回点検 (R2) 記載内容】 ⑧漏水・遊離石灰-d		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	【前回点検 (R2) 記載内容】 ⑧漏水・遊離石灰-d	
				【今回点検 (R7) 記載内容】 ⑧漏水・遊離石灰-d							
				【損傷進行状況】 前回 (R2) 点検から、大きな進行は認められない。							
写真番号	3	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	4	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09
部材名	床版	部材番号	23	メモ		部材名	主桁	部材番号	24	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	【前回点検 (R2) 記載内容】 ⑧漏水・遊離石灰-d		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	【前回点検 (R2) 記載内容】 ⑦剥離・鉄筋露出-c 【850mmx100mmx70mm】	
				【今回点検 (R7) 記載内容】 ⑧漏水・遊離石灰-d							
				【損傷進行状況】 前回 (R2) 点検から、大きな進行は認められない。							
写真番号	5	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	6	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09
部材名	床版	部材番号	23	メモ		部材名	主桁	部材番号	24	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	d	【前回点検 (R2) 記載内容】 ⑧漏水・遊離石灰-d		損傷の種類	剥離・鉄筋露出	損傷程度	c	【前回点検 (R2) 記載内容】 ⑦剥離・鉄筋露出-c 【1100mmx100mmx70mm】	
				【今回点検 (R7) 記載内容】 ⑧漏水・遊離石灰-d							
				【損傷進行状況】 前回 (R2) 点検から、進展している。							

点検資料 損傷写真

フリガナ	ミナミオチアイバシ
橋梁名	南落合橋

写真番号		5	1	撮影年月日		2025.11.09	撮影年月日		2025.11.09
		主桁	24	メモ			メモ		
		剥離・鉄筋露出	d	前写真 (防錆材塗布後)			前写真 (近接写真)		
		損傷の種類	損傷程度	写真番号		6	径間番号		1
				部材名		主桁	部材番号		24
				損傷の種類		剥離・鉄筋露出	損傷程度		d
									
写真番号		7	1	撮影年月日		2025.11.09	撮影年月日		2025.11.09
部材名		縦壁	01	メモ			メモ		
損傷の種類		変形・欠損	c	【前回点検(R2)記載内容】 ②3変形・欠損-c 【300mmx200mm】			【前回点検(R2)記載内容】 ①7-6その他(伝い水)-e		
				【今回点検(R7)記載内容】 ②3変形・欠損-c 【300mmx200mm】			【今回点検(R7)記載内容】 ①7-6その他(伝い水)-e		
				【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。			【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。		
									

損傷写真

点検資料 損傷写真

フリガナ	ミナミオチアイバシ
橋梁名	南落合橋

写真番号		9	1	撮影年月日	2025.11.09	撮影年月日		2025.11.09
		縦壁	01	メモ		メモ		
		その他（間詰め材脱落）	e	【今回点検(R7)記載内容】 ⑪-6その他（間詰め材脱落）-e		【今回点検(R7)記載内容】 ⑪-6その他（間詰め材脱落）-e		
部材名		径間番号		写真番号		10		1
損傷の種類		部材番号		部材名		縦壁		02
		損傷程度		損傷の種類		その他（間詰め材脱落）		e
								
				【損傷進行状況】 前回(R2)点検では、石積み部の間詰め材の脱落が認められない。				【損傷進行状況】 前回(R2)点検では、石積み部の間詰め材の脱落が認められない。
写真番号		11	1	撮影年月日	2025.11.09	撮影年月日		2025.11.09
部材名		縦壁	02	メモ		メモ		
損傷の種類		その他（伝い水）	e	【前回点検(R2)記載内容】 ⑪-6その他（伝い水）-e		【前回点検(R2)記載内容】 ⑪-6その他（伝い水）-e		
		部材番号		部材名		縦壁		02
		損傷程度		損傷の種類		うき		e
								
				【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。				【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。

損傷写真

点検資料 損傷写真

フリガナ	ミナミオチアイバシ
橋梁名	南落合橋

写真番号		13	1	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	14	1	撮影年月日	2025.11.09
		防護柵	01	メモ		部材名	防護柵	01	メモ	
		剥離・鉄筋露出	d	【前回点検(R2)記載内容】 ⑦剥離・鉄筋露出-d 【200mmx400mmx100mm】 【今回点検(R7)記載内容】 ⑦剥離・鉄筋露出-d 【200mmx400mmx100mm】 【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。 (防錆材塗布済み)	【前回点検(R2)記載内容】 ⑪-6その他 (河川名板の脱落) -e 【今回点検(R7)記載内容】 ⑪-6その他 (河川名板の脱落) -e 【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。		その他(河川名板の脱落)	e		【前回点検(R2)記載内容】 ⑪-6その他(目地材の隙間) -e 【隙間=20mm】 【今回点検(R7)記載内容】 ⑪-6その他(目地材の隙間) -e 【隙間=20mm】 【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。
写真番号		14	1	撮影年月日	2025.11.09	部材名	伸縮装置	02	メモ	
		防護柵(親柱)	01	メモ			その他(目地材の隙間)	e		
		変形・欠損	c	【前回点検(R2)記載内容】 ②3変形・欠損-e 【300mmx150mmx50mm】 【今回点検(R7)記載内容】 ②3変形・欠損-e 【300mmx150mmx50mm】 【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。			損傷の種類			
写真番号		14	1	撮影年月日	2025.11.09	部材名	伸縮装置	02	メモ	
		防護柵(親柱)	01	メモ			その他(目地材の隙間)	e		
		変形・欠損	c	【前回点検(R2)記載内容】 ②3変形・欠損-e 【300mmx150mmx50mm】 【今回点検(R7)記載内容】 ②3変形・欠損-e 【300mmx150mmx50mm】 【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。			損傷の種類			

損傷写真

点検資料 損傷写真

フリガナ	ミナミオチアイバシ
橋梁名	南落合橋

損傷写真	写真番号	15	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	16	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09
	部材名	緑石	部材番号	02	メモ		部材名	舗装	部材番号	01	メモ	
	損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	c	【前回点検(R2)記載内容】 ⑥ひびわれ-c(中小) 【0.2mm/L=500mm】15箇所 パターン(1)		損傷の種類	路面の凹凸	損傷程度	e	【前回点検(R2)記載内容】 ⑭路面の凹凸-c 【段差=20mm】 【今回点検(R7)記載内容】 ⑭路面の凹凸-e 【段差=20mm】 【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。	
												
損傷写真	写真番号	17	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09	写真番号	18	径間番号	1	撮影年月日	2025.11.09
	部材名	排水管	部材番号	01	メモ		部材名	排水管	部材番号	01	メモ	
	損傷の種類	腐食	損傷程度	e	【前回点検(R2)記載内容】 ①腐食-e(大大) ⑤防食機能の劣化-e[分類1] ②土砂詰まり-e 【今回点検(R7)記載内容】 ①腐食-e(大大) ⑤防食機能の劣化-e[分類1] ②土砂詰まり-e 【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。		損傷の種類	腐食	損傷程度	e	【前回点検(R2)記載内容】 ①腐食-e(大大) ⑤防食機能の劣化-e[分類1] ②土砂詰まり-e 【今回点検(R7)記載内容】 ①腐食-e(大大) ⑤防食機能の劣化-e[分類1] ②土砂詰まり-e 【損傷進行状況】 前回(R2)点検から、大きな進行は認められない。	
												

総点検調書:総括表		橋梁ID	34.907750,135.774861		
		橋梁名	南落合橋		
		点検実施日	令和7年11月09日		
		径間番号	1		
部材		① 点検状況	② 対象の有無	③ 異常の有無	④ 備考
橋梁 本体	主桁	済	有	有	
	縦桁	-	無	-	
	横桁	-	無	-	
	対傾構		無	-	
	横構		無	-	
	主構トラス等	-	無	-	
	アーチリブ等		無	-	
	ラーメン主構等		無	-	
	斜張橋斜材等		無	-	
	吊り橋ケーブル等		無	-	
	床版	済	有	有	
	下部工		有	有	
	支承部		有	無	
	落橋防止システム	-	無	-	
	伸縮装置	済	有	有	
	高欄	-	無	-	
	地覆	済	有	有	
	排水管	済	有	有	
	その他		無	-	
附 属 物	遮音施設	-	無	-	
	防風施設		無	-	
	防雪施設		無	-	
	投げ捨て防止施設		無	-	
	照明施設	-	無	-	
	標識施設	-	無	-	
	道路情報提供施設		無	-	
	道路情報収集施設		無	-	
	その他		無	-	
添 架 物	点検施設		無	-	
	各種ケーブルラック	-	無	-	
	その他	済	有	有	
そ の 他	防護柵(鋼製)	済	有	有	
	衝突防止施設	-	無	-	
	(現地で確認したもの)		無	-	
	舗装	済	有	有	

注1: ①欄には、点検状況を、「済」「未」「外」で記載
「外」とは、道路利用者及び第三者への被害が想定されない箇所のため、点検対象外であることを示す。
「未」の場合、「点検予定表」を作成

注2: ②欄には、対象施設の有無を、「有」「無」で記載

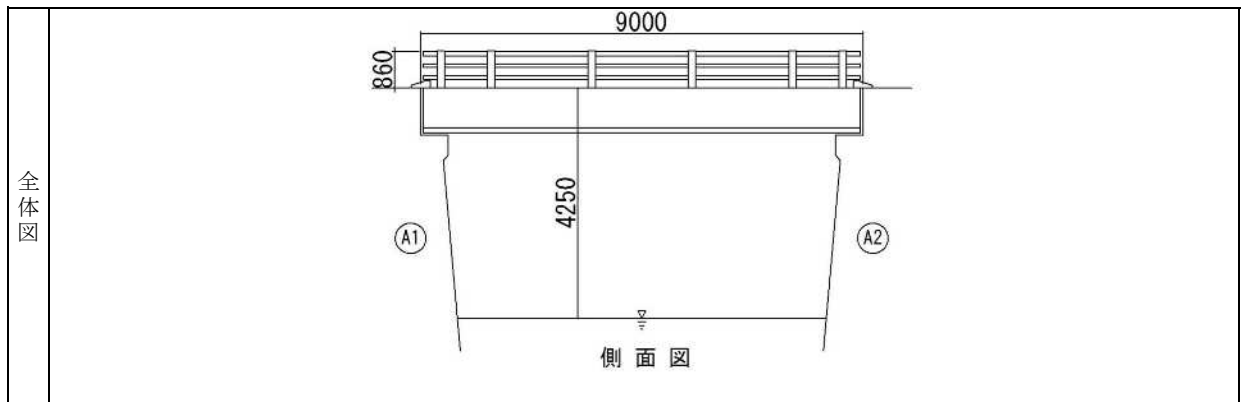
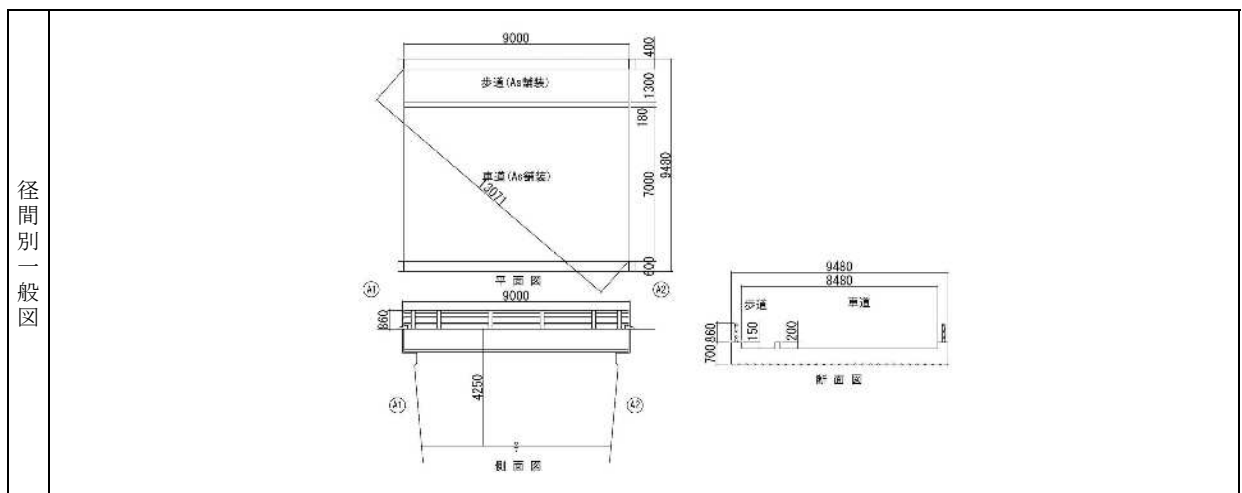
注3: ③欄には、異常の有無を「有」「無」で記載
対象となる主な損傷は、次のとおり
・鋼部材…著しい腐食、き裂・破断、ボルトのゆるみ・脱落
・コンクリート部材…うき・剥離、ひびわれ
・その他
「有」の場合、「損傷記録表」を作成

注4: ④欄には、「フェールセーフ機能の追加の必要性あり」、
「重大事故につながる損傷を発見」等、特記事項を記載

総点検調査:橋梁諸元

橋梁ID	34.907750,135.774861		橋梁No.	26204105030					
橋梁名	南落合橋		路線名	春日森落合線				京都府	
所在地	自	槇島町落合83番地先	位置情報 (世界測地系)	起点 (代表点)	緯度	34 °	54 ′	27.9 ″	管轄 宇治市
		經度			135 °	46 ′	29.5 ″		
	至			終点	緯度	34 °	54 ′	27.5 ″	
					經度	135 °	46 ′	29.7 ″	

供用開始日		1981年7月			活荷重・等級						適用示方書								
橋長		9.00 m			総径間数			1 径間											
上部構造形式		PC橋 PC 床版橋その他			下部構造形式			逆T式橋台			基礎形式								
交通条件		調査年						大型車混入率											
		交通量(台/12h)						荷重制限											
幅員		全幅員		9.48 m		地覆幅		歩道幅		車道幅・車線		車道幅・車線		歩道幅		地覆幅		中央帯	
		有効幅員		8.50 m		1.48 m		3.50 m		3.50 m		m		m		0.60 m		m	
海岸からの距離						緊急輸送路の指定						優先確保ルートの指定							
路下条件			河川																



- 注1: 橋梁IDは、起点の位置情報(緯度・経度)によるものとする。なお、IDの取得については、参考-4:総点検調査書の記入例を参照すること。
- 注2: 各道路管理者にて、既に独自の橋梁No.等を併記する。
- 注3: 緯度・経度については、0.1"単位まで記入することとする。
 なお、位置情報(緯度・経度)の取得については、トータルステーション、ポータブルGPS等の機器のほか、携帯電話及びスマートフォンのGPS機能を用いて簡易に取得可能であるので参考とされたい。